



やまうち こうじ
山内 浩二

質問者の動画
が見られます



Q. 観光誘客の状況は

A. 前年比 39.41%増で回復傾向にある

【質問】観光誘客施策の取り組みは。

【商工観光課長】町内で宿泊を伴う教育旅行支援事業や、ハッピートラベルチケット発行事業の実施、観光誘客支援交付事業推進に取り組んでいる。

【質問】温泉・郷土食・歴史・里山の取り組みは。

【商工観光課長】スタンプラリー事業を観光協会に委託し観光誘客に努めている。

【質問】インバウンド観光客の状況と今後の取り組みは。

【商工観光課長】新型コロナウイルス感染症で数年事業を促進できない状況であったが、現在は外国人誘客支援金交付事業を行い誘客に取り組んでいる。

【質問】宿泊先、イベント情報の発信は。

【商工観光課長】観光協会ホームページ掲載や、パンフレット等に関連する方々に周知を依頼している。

Q. 子ども屋内遊び場施設の検討は

A. 市町村子ども計画を策定し環境整備に努める

【質問】雨の日でも子供たちが遊べる屋内施設の必要性は。

【保健福祉課長】屋内において子どもが楽しく安全に遊べる環境を整備することは重要な施策であると認識している。

【質問】安全な屋内での遊び場は。

【保健福祉課長】現在2カ所の屋内遊び場を設置している。1か所目はカメリーナ1階交流ロビーに設置、2か所目は猪苗代町児童館となっている。

【質問】現在の設置施設は満足できるのか、今後の屋内遊び場施設検討は。

【保健福祉課長】現在、新たに施設整備は予定していない。現在ある2か所について新たな遊具を設置して遊び場としての機能の充実を図っていく。

Q. 空き家の現状把握は

A. 平成28年度以降追跡調査は実施していない

【質問】空き家対策取り組みは。

【総務課長】平成28年度当時は440軒の空き家を確認している。今後は区長さんに地区内の状況の確認を依頼し現状把握に努める。

【質問】現在の空き家有効活用は。

【商工観光課長】町ホームページ掲載、電話、相談対応説明実施、各種補助金制度を周知し、移住定住促進に努めている。

【質問】空き家バンクの情報は。

【商工観光課長】町内不動産業者と情報共有し、物件について関心があれば事業者へ情報提供し対応を依頼している。



空き家利活用の例
(ゲストハウス)

Q. 防災訓練は毎年行うべきではないか

A. 今後も隔年開催で取り組んでいく

【質問】各地区での防災訓練が12年に一度の開催となるが。

【総務課長】小学校の統合を控えているので、例えば3地区一緒に行うなど創意工夫しながら取り組んでいく。

【質問】自主防災組織における研修として防災についての出前講座を活用しては。

【総務課長】年度初めの全区長会議で出前講座の案内をしている。本年度は、三城潟区・半坂区で開催した。また、吾妻地区民生児童委員定例会でも防災の話をした。より多くの町民に防災への意識と関心を持っていただくため随時対応している。



万が一に備えて、消火体験

【質問】地域防災力の向上のため、防災運動会・防災イベントの開催の考えは。

【総務課長】機会をとらえて今後検討していく。

【質問】避難所としての中学校での訓練の考えは。

【総務課長】新屋内運動場の建築・旧校舎等解体工事、12月末で完了した後、防災会議を経てから地域防災計画の避難所に組み込む予定。備蓄品等の準備を進めている。中学校に特化した避難訓練は予定していない。避難所の運営訓練は実施する方向で検討する。

Q. 統合における通学路整備は優先課題では
A. 今後、事業化に向けて取り組む

【質問】地域から要望のあった路線の認識と対応は。

【建設課長】路線バスの猪苗代中学校入り口停留所から猪苗代中学校までの通学路で、多くの子どもたちが通行するため、交通安全に十分に配慮すべき道路と認識している。

本年度、通行車両や歩行者に注意を促し、安全意識の高揚を目的に、外側白線や通学路徐行の文字を路面に表示する区画線工事を予定している。

【質問】通学路点検によって中学校前に新設された横断歩道。幅広い歩道整備を。

【建設課長】早急に整備するのは難しい状況にあるが、事業化に向けて考えていく。

【質問】小学校の通学路の現状は。

【建設課長】各地区課題がある。一つ一つ課題をクリアできるように前向きに実施していく。



安全に通れる歩道の確保を

ほしの
星野 あけみ

質問者の動画
が見られます





たきた あき
瀧田 勝昭

質問者の動画
が見られます



Q. 災害の住民への啓発や協働は A. 住民の命と安全を確保したい

【質問】堤防の住居側が、河川の越水、決壊なしで住宅地が被害を受ける内水氾濫の事例は。

【総務課長】小黒川やサル川、北高野地区の堰などで排水能力が雨量に追いつかず氾濫を起こした事案がある。気候変動により、どこでも発生する可能性がある。

【質問】都市下水路等の内水氾濫のハザードマップの現状と考え方は。

【上下水道課長】水防法等の改正で示された内水浸水想定区域図の作成は、都市下水路、農業用水路、その他排水路等があり、関係課や関係機関と協議し、内水氾濫ハザードマップの作成に努める。当面は配布済みの長瀬川等ハザードマップで対応する。



千里地区のハザードマップ

【質問】磐梯山で昨年末に火山性地震が継続して発生し仙台管区気象台が火山状況に関する解説情報を出した。町の認識は。

【総務課長】磐梯山の変動は、県災害対策課等、関係機関と対応し、町民、各事業所が活火山であると認識するよう周知し、活動状況を注視する。

警戒レベルにより、入山禁止や、スキー場関係等とも情報を共有し、万全を期す。

Q. 「まちひとしごと創生総合戦略計画」の評価は
A. 出生目標値年間100人、実績59人

【質問】自治体戦略2040構想の地域生活に与える影響は。

【総務課長】総務省研究会の報告では、2040年には団塊ジュニア世代が65歳以上となり、20歳代前半はその半数程度になる見通しで、若年労働力が不足し、経営資源が大きく制約される。生活関連サービス、利便性や地域コミュニティ機能に与える影響は大きい。

【質問】住民サービスを行える職員数の確保・労働満足度、社会貢献に対する認識の醸成は。

【総務課長】自治体戦略構想の報告書で、2040年頃に日本全体の内政上の危機、人口減少と少子高齢化が進み続け、この弊害は、子育て、教育、医療、介護、インフラ、労働力などの問題が発生し、地方自治体の持続可能な住民サービスを提供する施策が必要である。

業務の簡略化や職員採用計画、行政組織の見直し等も考慮し、行政サービスを提供できる体制を構築する。



いがらし みえこ
五十嵐ミエ子

質問者の動画
が見られます



Q. 保険証発行を継続する立場で国への意見を A. 今のところ考えていない

【質問】健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカードに一体化する。本町のマイナンバーカード登録状況は。

【町民生活課長】令和5年8月31日現在1万724件で、町民全体の81.6%である。

【質問】マイナンバーカードと保険証の一体化によるトラブルで、カードを返納する動きがあるが。

【町民生活課長】全国で、マイナンバーカードの返納が発生しているが、本町では現在のところない。

【質問】トラブル発生と対応策は。

【町民生活課長】住基システムと連動して保険証のデータの作成しており、現在、発生していない。発生した場合には、国保連合会と連携し、その確認作業を進めたい。



健康保険証が一体化される
マイナンバーカード

【質問】カード取得を強制する方針で、任意取得の原則を定めるマイナンバー法に違反し、憲法が保障する自己決定権にも反すると思うが。

【町長】国が国策として、DX化を進める中で、軽々に元の健康保険証に戻すというのも考えづらいところである。

Q. 給食費の無料化を実施すべき
A. 来年4月実施にむけ準備中

【質問】学校給食の地場産食材の活用は。

【教育総務課長】米飯は、全て地元産米を利用しており、野菜などの県内地場産品の活用状況は、令和5年6月で49.04%。

【質問】米飯給食拡大に向けた取組と今後の計画は。

【教育総務課長】年間約153回で、全体の約8割が米飯給食となっている。今後も、県内産の地場産物の活用を図り、安全で安心な給食の提供に努めたい。



小学校の給食の様子

【質問】給食費の現状は。

【教育総務課長】委託炊飯の小学校で5万7300円、自校炊飯の緑小学校では5万5390円、中学校の保護者では6万4940円の負担をいただいている。

【質問】学校給食は教育の環境であり給食費の無料化を。

【町長】令和6年の4月の実施できるよう準備を進めている。今後も学校給食の実施により、食事について正しい理解を深め、食生活を営む判断力が養われることを期待している。



さとう えいいちろう
佐藤 英一郎

質問者の動画
が見られます



【質問】活気ある町にするための施策とは。

【町長】中央商店街の再生とJR猪苗代駅の周辺整備を優先して取組み、そこに活路を見出していきたい。年間100万人の来客数がある道の駅猪苗代からのようにして中央商店街に人の流れを呼び込むか、地元商工業者の皆さんと意見交換しながら一緒に考えていきたい。

【質問】町民が安全・安心を肌で感じられるまちづくりとは。

【町長】安心して子どもを育てることが出来る環境の整備はもちろん、高齢者の方にも生きがいを見いだしてもらえ、ような方策を打ち出していくことが大変重要であると考えている。

Q. 二瓶町政が掲げる住み続けたい町とは
A. 豊かな自然と観光資源を活かし商業と工業をバランスよく発展させる町



【質問】学校と地域、家庭が緊密な連携を取って、健全な育成に取り組むとあるが、その施策とは。

【町長】こども園や中学校のハード面における環境整備はほぼ完了し、小学校の統合についても、着実に進んでいる。これからは未来を担う子供たちへのソフト面の支援を重視した施策を展開し、健全な人材育成に取り組み。具体的には家庭における教育費負担軽減のため、保育料無料化や、学校給食費の無償化などを実現したい。

【質問】旧々役場跡地・旧役場跡地・統廃後の学校施設の活用現況及び活用計画は。

【企画財務課長】旧々役場の現況は更地となっており、磐梯まつりなどの利用・冬期間の雪置場として利用している。

【質問】町有財産の活用については、外部からの人材を招へいするなど、角度を変えて検討していくべきでは。

【商工観光課長】行政だけでなく地域の声を聞いていく必要がある。



旧吾妻中学校

Q. 廃校後の活用状況は
A. 検討委員会を立ち上げ検討する



改善の要望がある投票所

Q. 「いづれでも通園制度」の実施は
A. 一時預かり制度を拡充して対応する

【質問】一時預かり制度の内容と現状は。

【町長】子育て支援に対しては、安心して産み育てる環境を整備し、保護者の経済的負担の軽減も積極的に取り組んでいく。

【質問】保護者の育児休暇取得後、家庭での保育が困難と認められた場合、継続保育が可能とされている。もう少し申請しやすい、受け入れ体制が必要では。

【こども課長】まずは担任の先生や園に自主的に相談して頂きたい。また、各こども園には子育て支援センターを設置している、気軽に相談していただきたい。

質問者の動画
が見られます



おおたか さよみ
大高 佐代美

Q. 町長選挙の年代別投票率の把握は
A. 町単独の選挙については把握していない

【質問】投票率低下への見解は。

【選挙管理委員長】他の選挙も低下している中で、想定内に抑えられたと分析している。

【質問】投票率向上への啓発活動は。

【選挙管理委員長】コロナの分類変更直後で、十分に行わなかったが、広報及びホームページに掲載し、防災無線にて行なった。

【質問】選挙公報の現状は。

【選挙管理委員長】主に新聞折り込みにて配布している。

【質問】新聞未購読の方への対応は。

【選挙管理委員長】役場、体験交流館、図書歴史情報館及び町の7ヶ所の郵便局へ備え置いた。また、町ホームページにも記載した。

【質問】主権者教育の必要性は。

【選挙管理委員長】若い世代が国や社会の問題を自分の問題として捉え、考え、判断、行動することが、新時代を担うために大変重要だと考える。そのためにも、町教育委員会、町各学校と連携し推進していく。

【質問】利用には7日前の申請が必要だが利用直前の対応は。

【こども課長】保護者と園の受け入れ体制を調整し、可能な限り保護者の負担軽減を図っている。



ひまわりこども園の一時保育室



わたなべ かすと
渡部 一登

質問者の動画
が見られます



【質問】町長の考えるこれらの駅前整備のビジョンは。

【町長】観光地の玄関口として、来た人が、非常につかりするだろうなと感じている。今空いている空き地に花を植えお年寄り子どもたちの接点になるような場所を整備したい。また株式会社ISホールディングスとの包括連携協定でも検討事項となっているので同社と協議を重ねて、地元関係者の意向も伺いながら、猪苗代駅前周辺の整備について取り組んでまいりたい。

【質問】町長が考える整備にかかる具体的な時期はいつ頃なのか。

【町長】現段階でお答えできる時期は明確には申し上げられないが、できるだけ早い時期に方向性を出していきたい。



整備が期待される旧会津バス

【質問】猪苗代駅のバリアフリーの取り組みについて、国の補助金を使って行政との整備をしている自治体もあるが、本町としても実現できないのか。

【企画財務課長】観光地の玄関口として対応が必要と認識しているが、構内のバリアフリー整備については、基本的にはJRで対応していただく内容である。しかし現在の対応状況や課題の状況把握をし、JRへの要望活動の際には猪苗代駅のバリアフリー化を推進したい。



改修工が必要な配管

【質問】上水道の配管は施行され何年経過していて、今の状況は。

【上下水道課長】昭和29年供用開始から69年が経過している。法定耐用年数が40年であるが漏水等がなければ、通常、実務上更新基準として60年を超えた管路は総延長の約13%で、延長にすると約32%ロトイである。

Q. 水道事業の改修工事の補助金はないのか
A. 改修・修繕への国や県からの補助金はない

【質問】これからの維持管理のためには使用料の値上げが必要なのか。値上げが必要な場合はいつ頃なのか。

【上下水道課長】料金収入、また使用料等だけではなかなか更新が追いついていないのが現状であり、現在、料金改定に向けて検討している段階である。また改定時期についても、現在はまだ未定ではあるが、できるだけ早い段階で予定したい。

Q. 今後予定している猪苗代駅周辺の整備計画は
A. 現在町としての具体的な整備計画はない

Q. 地域おこし協力隊制度の活用状況は
A. 隊員を過去18名任用、10名が定住している



ながとも ひろむ
長友 海夢

質問者の動画
が見られます



【質問】隊員募集の予定は。【企画財務課長】各課へ協力隊の設置要望について、照会している段階。活動目的を明確にしたミッション型での募集を予定しており、地域課題解決や地域活性化に繋げたいと考えている。

【質問】募集の開始時期が遅いのは。

【企画財務課長】予算との関係もあるが、できるだけ早い時期に募集ができるよう対応していきたい。

【質問】人材確保の戦略は。

【企画財務課長】若い世代にはSNSでの情報発信が有効と考えており、活用について今後検討していきたい。



地域おこし協力隊制度の概要
(総務省ウェブサイト)

【質問】フリーミッション

(※1)や起業型での募集予定は。

【企画財務課長】現状はこれまで通りミッション型を基本としつつ、フリーミッションや起業型についても前向きに検討していきたい。

【質問】任期満了後の定住までのルート整備は。

【企画財務課長】地域での起業や就職などは、現状難しい状況ではあるが、猪苗代町に残って頂けるよう、就業場所の情報提供など、積極的に行っていきたい。

【質問】制度の活用について町長の考えは。

【町長】地域の課題解決や、定住・交流人口の増加にも繋がるものと考えている。積極的に活用し、地域の活性化を図っていきたい。

(※1)フリーミッションとは
協力隊自身がミッション(使命・任務)を見いだし、方針を自由に設定できる。

Q. 『ふるさと納税』制度の実施状況は

A. 寄付額がここ数年約1億円で推移している

【質問】寄付額を増加させるための取組は。

【企画財務課長】ふるさと応援納税電子クーポン事業を開始し、前年度は4か月という短い期間で約1千万円の実績があり、本事業の伸びしろに期待している。

【質問】ガバメントクラウドファンディング(※2)の活用は。

【企画財務課長】活用次第では様々な可能性があると思う。どのような事業がマッチするのか、先行事例等も踏まえ、調査研究したい。

(※2)ガバメントクラウドファンディングとは

自治体が抱える問題の解決に向けた事業を具体的にプロジェクト化しそれに共感いただいた方から寄附金として支援をいただく。

Q. 空き店舗の活用状況は
A. 補助制度を設け、活用の促進を進めている

【質問】補助対象エリアの再検討の予定は。

【商工観光課長】商業流通形態の変化など外的要因と、後継者不足などの内部的要因もあることから、対象範囲の拡大の必要性についても、関係団体と協議をしていきたい。



補助金制度を活用した空き店舗